

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公開番号】特開 2002-190976 (P2002-190976A)

【公開日】平成 14 年 7 月 5 日 (2002.7.5)

【出願番号】特願 2001-305483 (P2001-305483)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/225

G 0 3 B 17/18

G 0 3 B 17/36

G 0 3 B 19/02

H 0 4 N 5/907

H 0 4 N 5/91

// H 0 4 N 101:00

【F I】

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/225 A

G 0 3 B 17/18 Z

G 0 3 B 17/36

G 0 3 B 19/02

H 0 4 N 5/907 B

H 0 4 N 5/91 J

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 1 日 (2004.10.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筐体に搭載され、光を受光し、対象となる被写体または写景のイメージを表す出力信号を生成するイメージセンサと、

前記筐体に搭載され、該イメージセンサに接続されて該イメージセンサからの出力信号を処理する処理回路と、

前記筐体に搭載されるメモリと、

前記筐体に搭載され、前記処理回路に接続されて、複数のイメージに対応する複数の画像ファイルを順次に生成し、複数の画像モードのうち選択された 1 つにしたがって前記画像ファイルを前記メモリに記憶する制御回路であって、それぞれの画像ファイルが生成された後に各画像ファイルに対応する所定の減少数値に基づいて、残り撮影可能枚数を決定するものである制御回路と、

前記筐体に搭載され、前記残り撮影可能枚数をユーザに表示する手段と
を含んでなるデジタルスチルカメラ。

【請求項 2】

前記表示する手段は、前記残り撮影可能枚数の視覚表現を提供するディスプレイを含むものである請求項 1 に記載のデジタルスチルカメラ。

【請求項 3】

前記所定の減少数値は、前記画像ファイルのサイズに対応するものである請求項 1 に記載のデジタルスチルカメラ。

【請求項 4】

前記制御回路は、各画像ファイルサイズに対応する前記所定の減少数値を得るために、ルックアップテーブルを使用するものである請求項 3 に記載のデジタルスチルカメラ。

【請求項 5】

前記制御回路は、そのそれぞれが前記複数の画像モードの 1 つに対応するルックアップテーブルを複数個使用するものである請求項 1 に記載のデジタルスチルカメラ。

【請求項 6】

前記メモリの残りの容量が所定の最大画像ファイルサイズの画像ファイルを記憶するのに不十分であると前記制御回路が決定した場合には、前記制御回路は、前記残り撮影可能枚数がゼロであることを前記表示する手段に表示させるものである請求項 1 に記載のデジタルスチルカメラ。

【請求項 7】

前記制御回路は、前記複数の画像ファイルの生成において前記処理回路からの出力を圧縮するものである請求項 1 に記載のデジタルスチルカメラ。

【請求項 8】

前記複数の画像モードは、複数の画像解像度を含むものである請求項 1 に記載のデジタルスチルカメラ。

【請求項 9】

前記複数の画像モードは、複数のデータ圧縮レベルを含むものである請求項 1 に記載のデジタルスチルカメラ。

【請求項 10】

前記複数の画像モードは、複数の画像解像度から選択されたある画像解像度と複数のデータ圧縮レベルから選択されたあるデータ圧縮レベルとの、予め設定された複数の組合せを含むものである請求項 1 に記載のデジタルスチルカメラ。